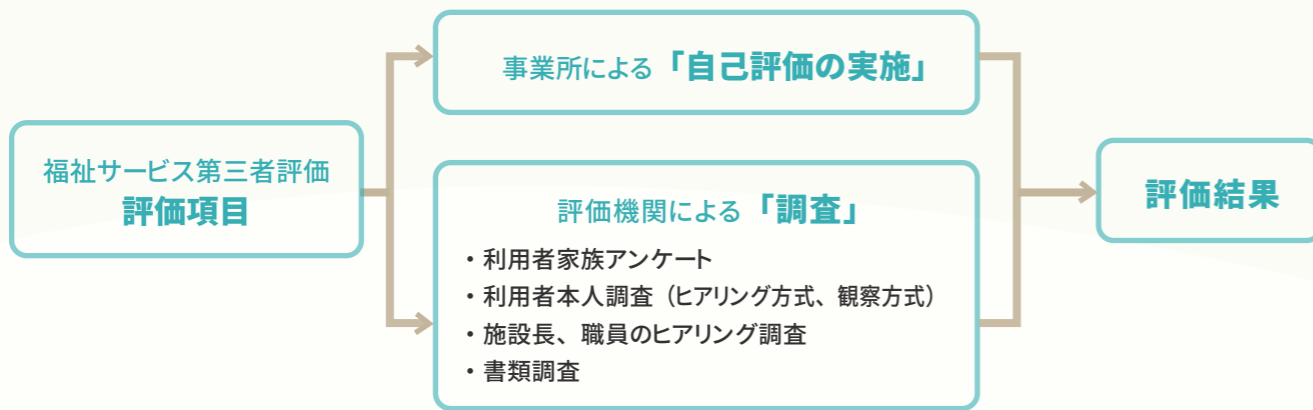


事業所の魅力をより輝かせるための評価サポート体制

私たちの取り組み姿勢

- 「誠実さ、公正さ」、「専門性、客観性」を持ち、事業所の現状を理解し、職員の皆さまの思いに寄り添うことを重視して事業にのぞみます。
- サービスの質の向上を目指し、日々努力されている職員の皆さまが第三者評価の受審プロセスを通して、取り組みを振り返り、多くの“気づき”を生み出せるよう、支援させていただきます。
- 一案件ごとに評価にあたる評価調査者と評価機関事務局でチームを組み、事業所のご意向を伺いながら、丁寧に対応させていただきます。
- 職員の皆さまが努力されている取り組み、工夫、姿勢を広く市民の方々にも伝えられるよう、また、さらなるステップアップのために皆さまにご活用いただけるよう、正確でわかりやすい報告書の作成に努めます。

どのように評価するの？



対象分野



評価費用について

※ 利用者定員等に応じてお見積りをいたしますので、ご相談ください。

■ 児童（保育所等）・高齢・障がい・保護

30万円～60万円程度（税込）

■ 障がい者グループホーム

1住居あたり10万円（税込）

■ 社会的養護施設

30万円～60万円程度（税込）

標準的な評価の流れ



かながわ福祉サービス第三者評価推進機構、横浜市等への報告

VOICE 自己評価アンケートより



見直すことはためになる

保育士 Aさん

職員間で分かっていると思っていたことが、分かっていなかったり、伝わっていなかったりして、細部までの連絡系統を考え直す機会もありました。また、保育に関して「見直し」という視点を持つことで、経験者は自分の保育を、新人にとってはこれからの保育を考えることができ、良い勉強になったと思います。



職員・施設の一体感が生まれた

施設長 Kさん

一つひとつの項目を読み上げ全職員で確認してみると、少しずつ捉え方の違いがあることに気づかされました。話し合うことでより理解が深められ、再確認できたことや、漠然と考えていたことが言語化され、より意識することができ、良かったと思います。



普段気付かないことも意識化できた

職員 Sさん

毎日の支援の中で当たり前の様に行っていることを、意味付けをして問われていることが多く、一つひとつの設問で利用者への関わり方、利用者家族との協力の仕方を改めて意識することができました。無意識から意識化することの重要性を改めて感じました。